



### 開校式

昭和37年(1962年)4月13日



### 校訓「獨立自尊」石碑建立

平成24年(2012年)6月28日



### 創立50周年記念式典・祝賀会

平成24年(2012年)10月5日

# 募金目標達成なる!!

## 母校創立50周年特別記念事業

### 募金特集号

# 秋田県立秋田南高等学校同窓会

発行：平成25年7月9日



秋田南高等学校  
校長 佐藤健公

昨年、同窓会、PTA、教職員と生徒が一体となり、県民会館で「秋田南高校創立50周年記念式典」を盛会のうちに終えることができました。その後の祝賀会では700名を超える方々のご出席をいただきました。同窓生や関係者の皆様が本校に対して並々ならぬ熱き想いを持っていること、そして、この日をどれほど待っていたのかを考えたとき、50年先の100周年に向けて、「獨立自尊」の精神を備え、本校の伝統をしっかり受け継ぐ生徒を育てていこうと、改めて気持ちを引き締めたところで。

創立51周年目を迎える今年、新たなスタートを切るにあたって、学校目標を「自分で考えてものごとに取り組む態度を養い、納得できる進路実績及び部活動実績につなげる。」として、生徒及び教職員が一丸となって取り組んでまいります。



東京南翔会  
会長 保坂武文

東京南翔会が創立50周年の母校への贈り物として記念事業を検討し、皆さんにご賛同いただいたのは、秋田南高校の強みでもある英語教育をもっと伸ばすお手伝いをしようという思いでした。グローバル化した時代に向けて、秋田から国際人を輩出し、いつの日か「国連の長」を秋田南高校卒業生から出したい！その実現には、英語。英語を母国語とする人と渡り合える国際人を育成しよう！そのための英語教育機材、ソフトを母校に寄贈しよう…

この東京南翔会発のアイデアに秋田同窓会菅原会長、同窓会の皆様にも賛同いただき、秋田&東京支部でそれぞれ募金活動がスタートしました。おかげさまで多くの同窓生の皆様にご理解いただき、励ましの言葉と共に多くの募金を得ることが出来ました。改めて秋田・東京南翔会の南高校同窓生の皆様に感謝申し上げます。

## 母校と同窓会より皆様へのメッセージ



教育振興会  
会長 鈴木力雄

創立50周年にあたって「在校生と卒業生の半世紀の紡ぎし想い」を乗せた数々の記念事業は、恙なく終えることができました。これも同窓会・学校・PTA・教育振興会の皆様のご協力の賜と衷心より感謝申し上げます。

かくて、創立50周年は終わりました。でも南高校にとって本当の意味での50周年は、南高校で学んだ生徒達が社会に巣立った時からその歴史がスタートしていると考えべきだと思います。故に一期の皆さんが卒業した昭和40年(1965年)から50年となる平成27年(2015年)が「本当の50周年」になるのではないのでしょうか。多くの同窓生が、後輩の頑張りが自分への励みとなり、何よりも大切な心の支えになっているように、私たち卒業生の頑張りが現役生徒の目標になると思いますので「本当の50周年」を意義あるものにして欲しいと願うものです。



秋田南高等学校同窓会  
特別記念事業実行委員長  
菅原 晟

私達の母校創立五十周年記念事業も滞り無く、そして厳粛かつ盛大に挙行され感動を覚えたことは、まだ記憶に新しい事であります。これも偏に同窓生並びに関係各位のご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

平成24年10月5日の記念式典において佐藤健公校長に目録贈呈式を挙行することが出来ました。この募金から学校への寄贈は、以下の通りです。

- ①「獨立自尊の石碑」の建立
  - ②吹奏楽部への高額楽器を3点寄贈
  - ③教育環境整備事業として各種設備、器材提供
- これからも、母校の飛躍に同窓会は、応援して参りますので引き続きのご協力とご支援をお願い致します。最終報告と御礼の挨拶にかえさせていただきます。



吹奏楽部  
OB会長 仲谷 廣

創立50周年記念式典・祝賀会の翌日、秋田県民会館に於いて「50周年記念演奏会」が開催されました。これまで母校と我が吹奏楽部をご支援いただいている多くの皆様方へ音楽を通して「感謝の気持ちを届け、母校の未来への輝きを発信したい」との思いから企画し、現役生徒及びOBの約120名の大編成となりました。全4部構成とし、現役部員やOB・OGによる演奏が堂々披露されました。最後は、南高校歌曲の小林清人先生ご自身指揮の下、客席の皆さんと大熱唱で幕となりました。

この貴重なステージに立つ幸せを感じながら、辛抱強く練習指導に当たられた岩谷氏、実行委員長の本田氏、司会の賀内氏、裏方、委員諸氏、講演会、父母会の皆様へ心から感謝申し上げます。同窓会から記念事業の一環として、吹奏楽部に対し楽器寄贈がありました。関係する一員として深く感謝申し上げます。ご報告いたします。



合唱部OB・OGによる記念ステージ

イラスト：漫画家 倉田よしみ(9期)  
写真提供：株式会社岩田写真 代表取締役 岩田幸久(21期)







加高佐貝二糸小古石柴手佐伊今菅工阿出高進泉中渡伊熊加高大松古勝門坂田金嶋佐佐正熊熊高伊安小三村齊近川目高金麻  
藤田藤田方井林仲井田塚藤藤野原藤部口村藤 道辺藤谷藤橋嶋田木田間田中田 藤藤田谷谷橋藤藤川澤上藤藤手黒嶋 生  
弘一慎浩克大規信 鉄信 真慎嘉敦博 大 一照一 昭茂智慶明真嘉公江大 千裕智智原み光雅道朋 康尚貴  
栄志悟樹明輔彦一誠威昇渡新哉寛誠人子憲子展新浩樹篤徳之洋拓一満則子徳裕洋大子三透春之史一千り博人生子央隆志子

喜内島佐成清今板今佐横加太田浅三中村相保豊高二加櫛石村宮佐梅齋佐清今伊鈴西佐伊荒安小高瀧渡大佐伊相糸佐今栗加  
田田田竹田水野垣野藤山藤田口野浦山田場泉島橋田藤岡川上崎藤川藤藤水野藤木村藤藤川藤川橋澤部塚藤藤原田木野山賀  
良隆陽 高健弘義麗良礼千正朋直佳恵智裕潤健浩康雅 亮 康正正智隆幸文重武順 康菜 育智綾昌 貴真和克克智巨  
直之一修世郎雄彦子人生歳臣寛希織美子介也夫樹誠也毅忍一誠直城美之仁喜子洋志也亮一子顕子子子和卓志子樹也久裕樹

佐伊高渡宮高佐佐伊吉齊鈴藤高清佐佐高左豊横吉豊長伊春佐本藤佐足小保柴伊豊渡三伊加小進熊若嶋伊阿深草渡佐佐菊鳥  
渡 谷藤橋邊城橋藤藤藤田藤木井屋野藤谷橋士嶋江原嶋山藤原木間井藤利室坂田勢島邊浦藤藤玉藤井松峨藤部井皆邊木木地海  
嵩健 英康 由和展彩雄優琢奈将 有さ and 悦達麗恵浩康卓智律裕貴純綾俊寿真貴洋大泰郁研智千利裕桃直 英久香達教陽  
朗太陽心春洋佳幸洋子介子也子昭賢希き哉子矢生子弥郎郎哉子也幸一子輔人子幸平輔樹子一子里幸也子哉勉弥子織也子介

三岩吉齋加熊五加藤関佐大那小加鈴佐齊豊七伊横茂松平鈴佐榎船恩佐三佐佐樋菅堀進戸  
浦澤田藤藤谷嵐藤原 木泉須野藤木藤藤嶋尾藤江木本柳木藤 木田木浦藤藤口原井藤嶋  
翔祐正め優悠 和 辰裕翔智紗春 安ま浩友京美靖航 瑞 直成真浩英有陽由万和良  
太子朗み一香梢也剛徳貴馬子里香圭美か子子子子子太悠徳圭美祐郎太成爲輝香子人平卓



見兒島佐辻塚小板金藤菅菅熊加渡曾鈴菅佐伊早中高加岩中高川富高小小山吉丹菅佐谷鈴佐佐榎渡関近宮松齋藤伊伊石菊鎌  
上玉山藤久田林垣子原原原谷藤邊山木生藤藤川山原藤澤川橋口野橋林川内成波原木藤木木藤 邊 藤田橋藤島東東塚池田  
友頌園優美健 美雄慎真昌真愛 泰康崇大祥 絵春紘 沙祥 里和菜し陽 清斐雄研晋浩将菜佳由寛 尚信 友太  
理平子也子介宙波太郎紀歩央実咲賀平慈地子勝唯理陽史拓慧織平葵生実雄子り介学香子登人也心徳摘枝奈樹豊記哉梓子郎

加伊諷佐川岡石杉佐齋小佐遠板渡山清兜岡石渡高柏荒丸中中小石安三藤島鎌高鈴齊大佐工加奈関木船能近三高佐柴石宮佐  
藤藤訪藤口部川山藤藤林竹藤垣邊方田森部井部橋木川山川西野黒宅浦島山田橋木藤島藤藤藤岡谷元木勢藤浦橋藤田井田藤  
晴重恵小千み瑛詩 佑 優 璃桐 水結靖里真苑貴裕菜 健涼優健有弘高夏さ崇崇一裕瑞昂洋 竜貴 陵 雄あ着浩高  
香貴香夏尋と進乃聖真中希大帆夏混恵衣大紗由美成幸徳至郎貴士太子行大美り史朗展奈季季太崇隆伸敏好太慧平り郎一寛

今齋三島熊柴	佐佐白清安高吉佐赤伊森齋金佐小古三石塚高長篠鈴柴小	佐加片加遠石廣小池藤藤能育成高佐成滝佐
村藤浦山谷野	木木瀬水田橋野木上藤合藤 川原村浦井田沢谷田木田山	野藤岡谷藤井瀬柳田田井勢藤田橋藤田沢藤
恒 重清精	俊淳智英悦真喜俊 一真周克清幸 克八賢一清朝あ 英	円亜哲菜大花航萌朋結敬皓 樹幸百奏晃
夫晋玄春功允	樹也博樹子美明一智美美美則隆一孝美子一秋和子子茂子	香季生里輔慧也子陽女子次颯海之郎花太平

間小高佐清榎館石佐菅長鈴伊田大榎石石伊佐太柴堀大佐佐中安佐西鈴片佐齋伊高佐小石佐奈保村佐伊佐石田鈴伊島伊齋畑  
山玉橋藤水 岡黒木原部木藤口友 黒川藤藤田田野宮藤木川宅藤村木岡藤藤藤橋藤野井藤良坂木藤藤木井中木藤也藤藤沢  
泰典志幸和一 慶 継 慎 良 宏直浩竜弘 重純裕英瑞瑞 哲綱久英 正淳政和ま和 博か 勝美美志彰三政  
悟征之子代浩新史勉勇真彦隆吾睦昭勉樹美紀彦毅茂均徳夫子勝子穂久郎一子子勉人一則人子恵隆久方る実男子幸史文雄信

米三船橋川鎌藤安進浅近菅大伊藤京富山小小原能工佐相田兒高鈴佐佐永間浅西佐工伊進若打升藤豊加池安桜佐佐三島伊伊  
川浦木本井田原藤藤野藤原友藤川極榎下林坂田谷藤藤川口玉橋木藤木井杉利村藤藤藤松矢屋原澤藤田庭川藤沢山藤藤  
純邦雅隆健 真 聡 美 泰功和利晴知 真 将洋順修育 勇由陽美和修慶 輝嘉 謙 宣幹義博 光竹成芳直正達武  
子一之之一裕子崇彦真子崇徳一也寛美之誠樹真隆雄平子平子修喜紀子香之平子卓樹貴靖哉智夫太人人誠明士人幸人明矢士

近堀工門岩佐工近藤泉眞小藤澤齋齋伊高酒松川福菊宇伊進小梅佐柴高高伊川神西本熊七齋鈴川岩熊齋松関伊熊関松伊塚  
藤内藤間本木藤藤垣谷坂玉澤井藤藤藤橋井橋村原地橋藤藤松里竹田橋嶋藤越崎崎間谷尾藤木邊見谷藤田 藤谷 木田藤本  
良公健千泰貴政紘智仁 亜昌さと貴聡孝淳大寛晴涼香雅 健尚祐美理香年史み拓真光晴 千智正妙 武 淑讓 絵 修  
祐平正晶明洋仁之美紀薫依幸み之敏治子輔則樹一織子航吾徳樹緒恵織弥晃子也二昭充慶春志樹子憲彦尚和司静子純和剛一

# 創立50周年同窓会記念事業収支最終報告

募金期間：平成24年4月13日～平成25年3月31日 募金最終集計日：平成25年6月26日

募金目標額 20,000,000円  
 寄付金総額 21,217,353円

## 収 入

差 引 1,217,353円

(単位：円)

項 目	予定額	決算額	備 考
寄 付 金	14,024,237	15,240,984	
繰 入 金	5,975,763	5,975,763	同窓会教育振興基金より
雑 収 入	0	606	預金利息
計	20,000,000	21,217,353	

## 支 出

(単位：円)

項 目	予定額	決算額	備 考
募 金 印 刷 物	900,000	736,050	
記 念 誌		577,500	500部
新 聞 広 告		600,000	秋田魁新報(10月5日)
独立自尊記念石碑	2,500,000	2,415,000	
TV会議システム	3,000,000	0	
教育環境整備費	12,600,000	12,000,000	(概算)
吹奏楽器材		3,150,000	
報告書発行		360,000	(概算)
通信料他雑費	1,000,000	1,135,891	
会議費		136,240	
予備費		106,672	(概算)
計	20,000,000	21,217,353	

※記念誌は、記念祝賀会にご出席いただいた同窓会員に贈呈いたしました。

※創立50周年同窓会記念事業は終了いたしますが、募金額の今後の増加分は寄付金として教育環境整備等に振り向けられます。



50周年記念事業にあたり、写真を提供していただいた、  
 株式会社岩田写真様、記念イメージキャラクターをデザインして  
 いただいた倉田よしみ様へ心より感謝申し上げます。

誌面作成には万全を期しておりますが、万一、誤字・脱字その他不備がございましたら、ご容赦願います。